

平成10年度発掘調査件数

(平成10年4月～11年3月)

	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
農業関係(国・県・団体)	4	5	2	7	0	5	0	23
都市計画等	3	4	7	0	0	0	0	14
道路建設	3	7	10	2	1	13	2	38
河川・ダム・空港	2	0	0	0	0	0	0	2
宅地造成等	2	1	0	1	0	1	3	8
学校建設	2	0	0	0	0	0	0	2
その他の建物	1	5	0	1	0	0	0	7
電機・ガス・水道	0	0	0	3	0	0	1	4
ゴルフ場・土取り	0	1	0	0	0	0	0	1
公園建設等	0	11	1	1	0	0	0	13
その他	0	2	0	2	0	1	0	5
史跡整備等	1	0	0	1	0	0	2	4
学術調査	0	0	0	1	0	0	0	1
計	18	36	20	19	1	20	8	122

発掘調査件数 122件の内訳は、県教育委員会が実施したもの42件、市町村教育委員会が実施したもの80件です。開発にともなう、事前協議のための試掘調査は含まれていません。

(5) 県内の発掘調査等の状況

発掘調査の原因別・地区別の通知等の件数は上表のとおりである。

原因では、道路建設・都市計画の区画整理を含む宅地造成・農地開発に関連する土木工事によるものが上位を占める。

また、近年の傾向は大規模開発が増加することにより、工法対応による部分調査で対応し切れずに、全面調査となる遺跡が多く、その結果1遺跡あたりの調査面積が広がってきている。開発件数の増加に加え、面積の拡大もあって、全体として発掘調査量は膨大なものとなっている。

なお平成9年度から、開発にともなう事前協議のための試掘調査件数は集計から除外していますが、全地区で多数の試掘調査が実施されている。

(6) 文化財センター(仮称)整備事業

埋蔵文化財等の調査・研究、収蔵・保管、公開・活用及び埋蔵文化財担当職員の研修の拠点となる文化財センター(仮称)を、白河市及び安達町に設置予定であるが、平成10年度は、白河館(仮称)の造成工事・建築実施設計・展示実施設計を行った。